

1回目穂肥は必ず生育診断を行い慎重に判断！ 2回目穂肥は後期栄養維持のため、確実に施用！

1. 6月30日現在の水稻生育状況（なんかん北管内調査圃場平均）

- コシヒカリ：草丈/並、茎数/少ない、葉数/並、葉色/並
- こしいぶき：草丈/やや長い、茎数/少ない、葉数/並、葉色/並

品種	草丈 (cm)		茎数 (本/m ²)		葉数 (葉)		葉色 (SPAD)	
	本年	指標	本年	指標	本年	指標	本年	指標
コシヒカリ	55	55	424	480	9.9	9.7	38.7	40.0
こしいぶき	57	52	455	550	10.3	10.5	43.2	41.5

2. 幼穂形成期・出穂期予想と穂肥施用のめやす（6月30日現在の予測）

- 幼穂形成期・出穂期は平年より2日程度早い予想です。（今後の気象により変動します）

品種	田植日	出穂期	穂肥 1回目			穂肥 2回目		
			施用時期	出穂前日数	窒素量 (kg/10a)	施用時期	出穂前日数	窒素量 (kg/10a)
こしいぶき	5/5	7/24	7/1	23	1.0~1.5	7/10	14	1.0~1.5
こがねもち	5/5	7/27	7/9	18~15	1.0~1.5	7/17	10	1.0~1.5
コシヒカリ	5/5	8/1	7/14	18~15	1.0~1.5	7/22	10	1.0~1.5
	5/10	8/3	7/16			7/24		
	5/15	8/5	7/18			7/26		

3. 必ず生育診断を行って穂肥時期・量を判断しましょう。

（1）穂肥1回目：幼穂長を確認

【幼穂長と出穂前日数の関係】

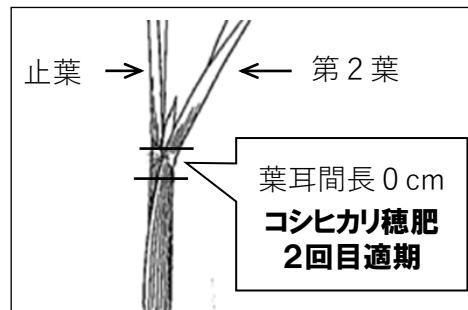
幼穂長 (cm)	0.02	0.1	0.13	0.2	0.5~1.0	4.0~6.0
出穂前日数	30	24	23	20	18	12

コシヒカリ
1回目適期

※幼穂長の測り方は、「売れる米づくり技術情報 No.4」をご確認ください。

（2）穂肥2回目：葉耳間長を確認

- 止葉の葉耳と、その下の葉(第2葉)の葉耳の間隔を確認して、同じ位置にあれば出穂9~10日前です。



4. 幼穂形成期以降は浅水の間断かん水から飽水管理へ！

※貴重な農業用水です。かけ流しはしない。

LINEで稲作・米穀情報の発信をやっています！

方法① ID 検索

[友達追加]>[検索]で

@287vzxcx を入力

方法② QRコードを読み取る

[友達追加]>[QRコード]で、

右のQRコードを読み取る。



【お問い合わせ先】

なんかん北営農センター
米穀課

TEL：0256-47-1429